

授業科目(ナンバリング)	茶道文化ⅣA(AB401)			担当教員	安部直樹・嶋内麻佐子		
展開方法	演習(遠隔)	単位数	1単位	開講年次・時期	4年・前期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
4年間の集大成として、茶事の基本的な流れを理解し、茶道におけるもてなしを探る。							⑪⑫
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力							
情報収集、分析力	禅語や花について情報を収集し、自己の修養のために役立てることができる。				課題レポート	30%	
コミュニケーション力							
協働・課題解決力							
多様性理解力	茶事の基本的な流れを理解することができる。				随時試験	70%	
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>随時試験の成績は70%とし、茶事の基本的な流れや客作法が理解されているかなどから評価する。課題レポートは30%とし、毎回の授業内容をポートフォリオを用いて整理し、習熟度の向上に繋げる。課題レポートの回答については、正解例を提示しフィードバックする。</p>							
授業の概要							
<p>茶事の流れ(寄付き、露地、外待合、懐石料理、炭点前、中立ち、濃茶席、薄茶席)について、理解することを目標とする。</p> <p>この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分とする。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：嶋内 麻佐子著『茶道文化基礎編』九州文化学園茶道文化研究所(2011年)</p> <p>参考書：桑田 忠親著『茶道の歴史』講談社(1979年)</p> <p>指定図書：安部 直樹、嶋内 麻佐子、木村 勝彦『大学の教養教育における茶道文化の意義に関する研究』人間社会学部国際観光学科共同研究(2018年)</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<ul style="list-style-type: none"> ・茶道具を準備する。遅刻・欠席をしない。 ・茶道文化Ⅳは4年間の集大成でもある。茶道は点前のみが茶道では無い。その中から生まれてくる精神性が、茶の理念でもある。茶会では亭主と客とが協力しあってはじめて「一座建立」の世界を保つことができる。その考え方は一般社会においても同様である。茶道を通して「人と人」「人と物」の関係を学び、人間としての在るべき姿を見つけ出してほしい。 							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	・唐物点前について	茶入の種類や唐物点前について学ぶ。	茶道文化の授業内容について確認する。 唐物点前の特徴について復習する。
2	・濃茶と唐物の拝見について	濃茶点前と唐物点前の拝見の出し方の違いについて学ぶ。	拝見の出し方について復習する。
3	・茶事について	茶事の流れについて紹介する。	茶事の流れや内容について復習する。
4	・懐石料理①	懐石料理の流れ（膳出し～椀盛まで）を理解する。	懐石料理の流れについて復習する。
5	・懐石料理②	懐石料理の流れ（汁替え～小吸物まで）を理解する。	懐石料理の流れについて復習する。
6	・懐石料理③	懐石料理の流れ（八寸～膳下げまで）を理解する。	懐石料理の流れについて復習する。
7	・炭、炭道具について	炭点前で使用する炭や道具について紹介する。	教科書 p. 63 を読み、炭の種類を整理する。
8	・炭点前①	炭点前の流れ（道具を持って入る～炭をつぐまで）を理解する。	教科書 pp. 64～66 を読み、予習・復習をする。
9	・炭点前②	炭点前の流れ（湯相を見る～香合を持ち帰るまで）を理解する。	教科書 pp. 67～69 を読み、予習・復習をする。
10	・寄付について	寄付の意味や所作について学ぶ。	寄付での所作について復習する。
11	・外待合について ・蹲での所作	外待合や蹲での所作について学ぶ。	外待合や蹲での所作について復習する。
12	・茶室への入室 ・亭主と客の挨拶	にじり口からの入室の仕方について学ぶ。 亭主と客のやり取りについて紹介する。	茶室への入室や挨拶について復習する。
13	・続き点前①	続き点前（濃茶茶碗を取り込む～座布団、煙草盆、干菓子を出すまで）を理解する。	教科書 pp. 70～93 を読み、予習・復習をする。
14	・続き点前②	続き点前（嚢を持ち出す～薄茶点前最後まで）を理解する。	教科書 pp. 70～93 を読み、予習・復習をする。
15	・随時試験	茶事の基本的な流れについて、どこまで理解されているのか確認する。	茶事の流れについての理解を目指す。